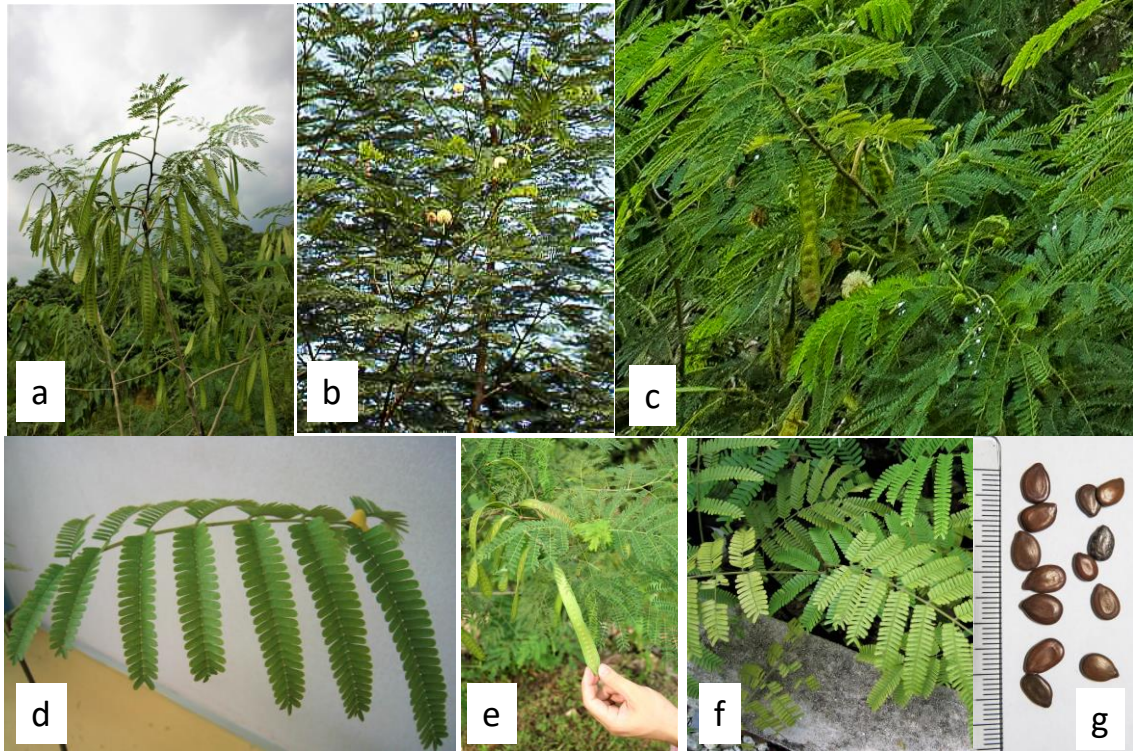


ギンネム（マメ科）



Leucaena leucocephala (Lam.) de Wit

英語：White popinac, wild tamarind, jumbay, white leadtree, Ipil-ipil



【概要】ギンネムはメキシコ南部からグアテマラにかけての中米原産のマメ科ネムノキ亜科の樹木で、荒廃地でも定着でき成長速度も速いため、熱帯・亜熱帯地域で緑化や利用などの目的で広く植栽されている。いくつか系統があり、低木にしかならない普通型（写真 a）と選抜され高木になる型（写真 b）がある。現在では野生化した集団も多く、耕作地への侵入や在来種の生育阻害のため問題になることも多い。世界の侵略的外来種ワースト 100 リストに加えられている。日本でも緑化や飼料などの目的で明治時代には小笠原や沖縄に導入されたが、野生化している。生態系被害防止外来種に指定され、在来の植生に影響を与えるため駆除される場合もある。

【形態】もともとは灌木程度のサイズであるが、選抜された大型化する系統では樹高が 10～15m 近くになる。2 回偶数羽状複葉で小葉は 10～16 対で先はとがる（写真 d）。ネムノキのように暗くなると小葉対が閉じる。花はほぼ通年を通して咲き、白色でボール型の頭状花序を作る（写真 a, c）。果実は扁平な莢状で長さが 10～20 cm 程度、最初緑色であるが熟すと茶色になる（写真 e）。中に 10～20 個の種子（写真 g）が入っている。

【生態】幅広い土壌で生育が可能であるが、排水性がよく pH6.0-7.5 の土壌で最も成長が良くなる。根の共生菌により空中の窒素を固定できるため痩せ地でも生育でき、肥料

森林再生テクニカルノート：荒廃地修復のための主な植栽樹種

木としても用いられる。また、アレロパシー物質のミモシンを含有し、他の植物の成長を抑え繁茂するため駆除対象となることもある。沖縄を含む世界各国でギンネムキジラミによる新葉部分への吸汁により枯死被害が発生している。

【繁殖・育苗】種子（写真 g）の発芽最適温度は 30～35℃程度、発芽率も 90%前後でポット苗などで育苗される（写真 f）。70℃の温水処理により発芽率が上昇するとの報告がある。種子は冷蔵貯蔵（2℃）でき、少なくとも 3 年間発芽能力が保たれる。挿し木増殖も可能で、直径が 0.5～1.5 cm の挿し穂の発根率は 60%以上と良好であった。一方直径が 0.5cm 以下の場合は発根率が 3%と低い。

【成長・その他】成長は非常に早く、1～3 年で樹高が 10m に達することもある。適地での年材積成長量がヘクタール当たり平均 8～55m³との報告もある。一方、pH4 以下の酸性土壌や排水性が悪い土壌などでは 10 分の 1 程度の成長しか見られない場合もある。萌芽能力が高く、地上部のかく乱を受けても萌芽更新し素早く回復する。材は建材のほか薪や炭に利用される。材比重は 0.5 程度である。葉はタンパク質に富み、栄養価が高いため牛などの飼料などに用いられるが、鶏や豚などはミモシン中毒が起こるためミモシン含有量を低下させた飼料の調製法が試みられている。

【主な参考文献】新本光孝ら（1984）熱帯有用樹の導入・育成に関する研究：第 2 報 巨大ギンネムの発芽及びさし木試験。琉球大学農学部学術報告，31，279-285。IDRC（1983）Leucaena research in the Asian-Pacific region：Proceedings of a workshop held in Singapore, 23-26 November 1982. NFTA & IDRC。佐藤明（1997）ギンネム，熱帯樹種の造林特性 1 巻，国際緑化推進センター。玉城ら（2011）沖縄におけるギンネムの制御について。琉球大学農学部学術報告，58,17-19。

（国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 田中憲蔵）

写真 a 普通（低木）型 撮影地：沖縄県、撮影年月：2004 年 12 月、撮影者：田中憲蔵

写真 b 高木型 撮影地：ミャンマー、撮影年月：1997 年 4 月、撮影者：斉藤昌宏

写真 c 頭状花序と果実（莢） 撮影地：マレーシア、撮影年月：2003 年 8 月、撮影者：田中憲蔵

写真 d 羽状複葉 撮影地：沖縄県、撮影年月：2021 年 11 月、撮影者：田中憲蔵

写真 e 果実（莢） 撮影地：マレーシア、撮影年月：2004 年 12 月、撮影者：田中憲蔵

写真 f 苗木 撮影地：マレーシア、撮影年月：2003 年 8 月、撮影者：田中憲蔵

写真 g 種子 採集地：インドネシア、撮影者：JIFPRO

普通（低木）型 撮影地：沖縄県、撮影年月：2004 年 12 月、撮影者：田中憲蔵